

23年産の新米を消費者へ JA新米直売会



▲ 新米を消費者の車に積み込む職員ら

今年で開催して5年目となるJAの新米直売会が10月8日、JA農産物直売所みょうが館の特設会場で開催され、たくさんの方が購入に訪れました。午前9時から始まった直売会では、購入手続きを済ませた消費者の車に、職員らが新米を詰め込み、購入を待ち望む消費者で、会場は長蛇の列となりました。当日の販売数量は627袋で、来場者は240名と、共に前年度を2割ほど上回りました。

購入した消費者は「毎年、JAの新米直売会があるのが助かります。信頼できるJA米を、はやく子どもたちに食べさせたい。」と、嬉しそうに話していました。

園児の笑顔が満開になった サツマイモ収穫体験



▲ 小さな手で懸命にイモを掘り出す園児

子どもたちに収穫の喜びを味わってほしいと、JA青年部浅内支部による「おもしろえで農業・イモ掘り大会」が10月31日、能代市河戸川の圃場で開かれ、近隣の保育園児たちが、晴天の下でサツマイモ掘りにチャレンジしました。

はじめに青年部員がサツマイモの掘り方を説明したあと、長靴・軍手姿の園児たちが一斉に収穫を開始。自分たちの手より大きなサツマイモ掘りだしては、可愛らしい歓声を上げて喜んでいました。

同支部の大塚剛志支部長は「今後もイモ掘り体験などを通じて、農業の楽しさを伝えていきたい」と話していました。

様々なイベントで来場者を魅了 2011 町民祭「白神のふるさとまつり」



▲ たくさんの方が来場した町民祭

藤里町の農工商が一堂に会し、文化・収穫の秋を子どもから大人まで幅広い年代で満喫できる、2011町民祭「白神のふるさとまつり」が、10月22日と23日の2日間にわたり、藤里町町民体育館などを会場に開催されました。

屋内では、メーンの農産物品評会のほか、幼稚園児のお遊戯や素波里猪のよさこいソーラン踊り。屋外では、グラウンドゴルフ大会なども行われ、会場は大いに賑わいました。

また、JAによる白神和牛販売が行われたほか、JA女性部藤里支部員が、かぼちゃスープと新米炊き込みご飯の無料提供を行い、多くの方に喜ばれました。

地元ヒーローによる交通指導 超神ネイガールの交通安全教室



▲ 交通安全体操を踊るネイガールと児童ら

JA共済が主催する、地元秋田のヒーロー『超神ネイガール』の交通安全教室が、10月14日にまつばら保育園で、また10月26日に二ツ井町の3保育園合同で、それぞれ開催されました。

このうち、二ツ井町3保育園合同では、園児とその関係者、約200名が参加しました。交通安全教室では、超神ネイガールなどが、車道で遊ばないことやシートベルト着用の必要性、また横断歩道での左右確認について、ショーを交えて説明しました。あこがれのヒーローからの指導に、児童らは目を輝かせながら聞き入り、交通ルールの大切さを感じ取っていました。